

獣医学共用試験調査委員会（第4回） 議事次第

1 日 時 平成22年3月1日（月）13：00～17：50

2 場 所 東京大学農学部 弥生講堂アネックス

3 出席委員

酪農学園大学：山下和人教授

岐阜大学：北川均教授、

北里大学：高井伸二教授

岐阜大学：杉山誠教授

日本獣医生命科学大学：新井敏郎教授

麻布大学：浅井史敏教授

日本大学：鎌田寛教授

東京大学：大野耕一准教授

獣医学共用試験調査委員会の上部組織

獣医学教育モデル・コア・カリキュラムに関する調査研究委員会

総括班責任者 東京大学 尾崎 博教授

全国大学獣医学関係代表者協議会 会長 吉川 泰弘教授

国公立大学獣医学関係代表者協議会 会長 伊藤 茂男教授

4 議 題

（1）獣医学共用試験における目的・目標について

吉川先生から日本獣医師会において実施された「獣医学臨床教育の改善（参加型臨床実習のあり方）」に関する関係者懇談会における議論の概要をご説明頂いた。その際に議論の焦点となったことは懇談会資料4-1の獣医療法第19条に関する獣医学生への獣医療行為に関する農水省の解釈であった。違法行為であろうと思われるが、「大学が策定する指針」によって獣医学生に許容される獣医療行為が可能とされた場合、医療事故の責任の所在など法的な根拠を何処に求めるか、極めて曖昧な点が多く、問題の先送りと考えられた。獣医学教育における共用試験の目的と意義については、違法性の棄却と教育の質保証のふたつが根拠となり、医歯薬の事例を踏まえながら、比較検討を進め、中間答申案を作成することとした。

（2）その他：次回の予定

5. 資料

（1）資料1 獣医学共用試験について 新井先生

（2）資料2 浅井先生のコメント

（3）資料3 山下先生のコメント

（4）資料4 酪農学園大学獣医学部での共用試験に関する意見（山下先生）

- (5) 資料5 獣医臨床系教官の「共用試験」に関する意見など(大野先生)
- (6) 資料6 北里大学臨床系若手教員におけるアンケート調査(高井)
- (7) 資料7 事前の獣医学生評価をどの様に行うか?(尾崎先生)
- (8) 資料8 獣医師会懇談会資料 2010-2-24(メール添付ファイルのみ)
- (9) 資料9 懇談会資料(獣医師会)
- (10) 資料10 獣医学共用試験についての考え方 ver2(杉山先生)
- (11) 資料11 共用試験 Q&A
- (12) 資料12 獣医学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議資料から
- (13) 資料13 第四回資料(鎌田先生) 当日配布
- (14) 資料14 ipad の記事
- (15) 資料15 臨床実習において獣医学生が行う獣医行為(資料4-1と4-2)
- (16) 資料16 尾崎先生資料7の改訂版